

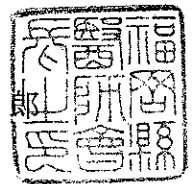


福県医発第2112号（総）

平成15年 2月28日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 関 原 敬 次



厚生省「終末期医療に関する意識等調査」について

標記について、日本医師会より別紙のとおり協力依頼があり、第44回全理事会（H15.2.26）にて協議の結果、本会としてもこれに協力することにいたしました。

本調査は、厚生省内に設置された「終末期医療に関する調査等検討会」において、我が国におけるふさわしい終末期医療の在り方を検討するため、国民並びに医療従事者の意識調査並びに終末期医療の実態について調査するものです。また、調査票は直接、病院、診療所等へ発送されております。

つきましては、貴会におかれましても本件調査についてご了解いただきますとともに、本調査にご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 1 5 年 2 月 2 1 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

坪 井 栄 孝



終末期医療に関する意識等調査について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、我が国におけるふさわしい終末期医療の在り方について検討するため、厚生労働省では、「終末期医療に関する調査等検討会」（本会から櫻井常任理事が委員として参加）を設置して、検討を行っているところでありますが、この度、医療機関を経由して医療従事者等の意識調査を行うことになりました。

この終末期医療に関する調査は、これまでも平成4年度と平成9年度に実施されており、5年後の本年度は3回目となります。また、調査票は直接、病院、診療所等へ発送されるとのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件調査についてご了知いただきますとともに、本調査にご協力を賜われますようよろしくお願い申し上げます。

..

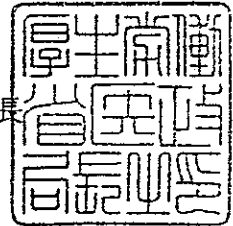
医政発第0205003号

平成15年2月5日

日本医師会

会長 坪井 栄 孝 殿

厚生労働省医政局長



終末期医療に関する意識等調査について

厚生行政については、平素から格別の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、適切な医療提供体制の確保につきましては、従来から格別の御協力をいただいているところですが、我が国におけるふさわしい終末期医療の在り方について検討するため、本年度、当局において開催している「終末期医療に関する調査等検討会」におきまして、抽出された医療機関を經由して医療従事者等の意識調査を行うこととなりました。

つきましては、医療従事者等の意識を的確に把握するため、医療機関を經由した調査が円滑に進められるよう、各都道府県医師会の御協力をいただきたく格段の御配慮をお願い申し上げます。

平成14年度 終末期医療に関する調査の対象数一覧

対象者	対象施設	調査人員数
一般国民		5,000
医師	計	3,147
	病院	2,000
	診療所	1,034
	緩和ケア	113
看護師	計	3,647
	病院	2,000
	診療所	1,034
	緩和ケア	113
	訪問看護ステーション	500
介護職員	介護老人福祉施設	2,000

※ 介護職員は、「介護福祉士」の有資格者に限る

※ 調査手法・方法について

- ・ 層化2段階無作為抽出（一般国民対象調査）
- ・ 全国の各施設から無作為抽出（医師、看護・介護職員対象調査）

【層化2段階無作為抽出】

母集団が大きい場合などに適用される。全国規模の主要な調査は、ほとんどがこの方法を採用している。

まず、母集団を地域などによって1次抽出単位に分け、1次抽出単位をランダムに抽出したあと、その単位の中で回答者として選ばれる確率が等しくなるように標本を抽出する。

- ・ 調査は、郵送法により行う